

もも登録農薬適用表（殺虫・殺菌）

(R3年11月現在)

* 曆採用欄の空欄は防除曆に記載のない薬剤

用途	毒劇	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
殺菌殺虫剤		石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	10倍	7倍 7~10倍	発芽前	—	黒星病・胴枯病・縮葉病 越冬病害虫・カイガラムシ類・ハダニ類・縮葉病	多硫化カルシウム

用途	毒劇	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
殺菌剤	劇	硫酸銅4-12式ボルドー液	○		散布	4-12式	4-12式	—	—	せん孔細菌病	硫酸銅
		ICボルドー412	○	水和剤	散布	30倍	30~50倍	—	—	せん孔細菌病・(縮葉病30倍)	銅
		アグレプト水和剤	○	水和剤	散布	1000倍	1000~2000倍	収穫60日前まで	2回	せん孔細菌病	ストレプトマイシン
		マイコシールド	○	水和剤	散布	1500倍	1500~3000倍	収穫21日前まで	5回	せん孔細菌病	オキシテトラサイクリン
	劇	デランフロアブル	○	フロアブル	散布	600倍	600倍 600~1000倍	収穫7日前まで	4回	灰星病・ホモブシス腐敗病 せん孔細菌病・黒星病・(縮葉病1000倍)	ジチアノン
		トレノックスフロアブル	○	フロアブル	散布	500倍	500倍	収穫7日前まで	5回	せん孔細菌病・黒星病・縮葉病・灰星病	チウラム
		ベルケートフロアブル	○	フロアブル	散布	2000倍	1000~2000倍	収穫前日まで	3回	灰星病・ホモブシス腐敗病・黒星病	イミノクタジナルベシル酸塩
		ロブラール水和剤		水和剤	散布		1000~1500倍	収穫前日まで	3回	灰星病・(ホモブシス腐敗病1000倍)	イブロジオン
		アンビルフロアブル	○	フロアブル	散布	1000倍	1000倍	収穫前日まで	3回	黒星病・灰星病	ヘキサコナゾール
		スコア顆粒水和剤	○	顆粒水和剤	散布	2000倍	2000倍	収穫前日まで	3回	黒星病・灰星病	ジフェノコナゾール
		ナリアWDG	○	水和剤	散布	2000倍	2000倍	収穫前日まで	2回	うどんこ病・黒星病・すすかび病・炭疽病・灰星病・ホモブシス腐敗病・果実赤点病	ピラクロストロビン・ボスカリド
		スターナ水和剤	○	水和剤	散布	1000倍	1000倍	収穫7日前まで	3回	せん孔細菌病	オキシロニック酸
		ダコニール1000		フロアブル	散布	1000倍	1000倍	収穫前日まで	6回	黒星病・灰星病	TPN
		ストロビードライフロアブル		ドライフロアブル	散布	2000倍	2000倍	収穫前日まで	3回	黒星病・灰星病・黒斑病・うどんこ病・(縮葉病・休眠期)	クレンキシムメチル
		トップジンM水和剤		水和剤	散布 10分間根部浸漬		1000~1500倍 500倍	収穫前日まで 植付前	6回 1回	黒星病・灰星病・ホモブシス腐敗病・(枝折病・うどんこ病1000倍) 白紋羽病	チオファネートメチル
	インダーフロアブル		フロアブル	散布	(5000倍)	5000倍	収穫前日まで	4回	黒星病・灰星病	フェンブコナゾール	

用途	毒劇	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
殺虫剤		サイアノックス水和剤	○	水和剤	散布	1000倍	1000倍	収穫21日前まで	3回	シンクイムシ類・ハマキムシ類・アブラムシ類・カイガラムシ類・モモハモグリガ	CYAP
		カスケード乳剤		乳剤	散布		2000倍 4000倍	収穫14日前まで	2回	ハダニ類・(モモハモグリガ2000~4000倍) ハマキムシ類	フルフェノクスロン
		スミチオン水和剤40	○	水和剤	散布	1000倍	800~1200倍	収穫3日前まで	6回 樹幹処理は1回	シンクイムシ類・ハマキムシ類・アブラムシ類・(カメムシ類800~1000倍)・モモハモグリガ	※1MEP
		スミチオン乳剤	○	乳剤	散布	1000倍	1000倍 1500倍 1000~2000倍			ナシヒメシンクイ・モモハモグリガ・カメムシ類・ハマキムシ類・クワシロカイガラムシ・クビアカツヤカミキリ(成虫発生期但し、収穫3日前まで) クワコナカイガラムシ	
							アブラムシ類・モモハモグリガ・(ナシヒメシンクイ心折防止)				
	劇	ダイアジノン水和剤34	○	水和剤	散布	1000倍	1000倍 1000~1500倍	収穫前日まで	4回	シンクイムシ類 アブラムシ類・ハマキムシ類・カイガラムシ類	ダイアジノン
	劇	モスピラン顆粒水溶剤	○	顆粒水溶剤	散布	4000倍	2000~4000倍	収穫前日まで	3回	モモチョッキリゾウムシシンクイムシ類・アブラムシ類・カメムシ類・アザミウマ類・モモハモグリガ・(コスカシバ・カイガラムシ類2000倍・クビアカツヤカミキリ)・コガネムシ類成虫	アセタミプリド
		バロックフロアブル		フロアブル	散布	(2000倍)	2000倍	収穫7日前まで	2回	ハダニ類・モモサビダニ	エトキサゾール
		ダニサラバフロアブル		フロアブル	散布		1000~2000倍	収穫前日まで	2回	ハダニ類	シフルメトフェン
		アブロード水和剤		水和剤	散布	1000倍	1000倍	収穫14日前まで	3回	カイガラムシ類幼虫	ブプロフェジン
		スプレーオイル		乳剤	散布		25~50倍	発芽前	—	ハダニ類・ハダニ類の越冬卵・カイガラムシ類	マシ油
	劇	ラビキラー乳剤		乳剤	散布	(200倍)	200倍	落果後~発芽前(休眠期)	1回	コスカシバ	※1MEP・PAP
		ダントツ水溶剤		水溶剤	散布		2000~4000倍	収穫7日前まで	3回	アブラムシ類・カメムシ類・モモハモグリガ・シンクイムシ類 (コガネムシ類・クビアカツヤカミキリ2000倍)	クロチアニジン
		カネマイトフロアブル	○	フロアブル	散布	1500倍	1000~1500倍	収穫7日前まで	1回	ハダニ類・(モモサビダニ1000倍)	アセキノシル
		スターマイトフロアブル		フロアブル	散布	(2000倍)	2000倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類	シエノピラフェン
		ダニゲッターフロアブル	○	フロアブル	散布	2000倍	2000倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類・モモサビダニ	スピロメシフェン
		サムコルフロアブル10	○	フロアブル	散布	5000倍	5000倍	収穫前日まで	2回	シンクイムシ類・モモハモグリガ・ハマキムシ類・コスカシバ	クロラントラニリプロール
	劇	バリアード顆粒水和剤		顆粒水和剤	散布		2000~4000倍	収穫前日まで	3回	シンクイムシ類・アブラムシ類・モモハモグリガ	チアクロプリド
		フェニックスフロアブル		フロアブル	散布	(500倍)	200~500倍 4000倍	開花期まで 収穫前日まで	1回 2回以内	コスカシバ ハマキムシ類・モモハモグリガ・シンクイムシ類・ケムシ類・コスカシバ	フルベンジアミド
		マイトコーネフロアブル		フロアブル	散布		1000~1500倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類・(モモサビダニ1000倍)	ビフェナゼート
	スカウトフロアブル		フロアブル	散布	2000倍	2000~3000倍	収穫前日	5回	モモハモグリガ・シンクイムシ類・アブラムシ類	トラロメトリン	

用途	毒劇	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
フェロモン剤		コンフェューザーMM	○	55a/100本	ディスプレイベンチャーを対象作物の枝に巻き付け、まき込みする	100本/10a	100~120本/10a	成虫発生初期~終期(黒樹類)	—	ナシヒメシンクイ・モモハモグリガ・リンゴコカクモンハマキ・モモシンクイガ・(チャノコカクモンハマキ120本/10a)	オリフルア・トートリルア ピーチフルア・ピリマルア剤

※1：MEPを含む農薬の総使用回数は6回まで ※適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。